SHIMADZU
Excellence in Science

Application News

No. A539

光吸収分析

AIMsolution のガイダンス機能とレポート作成機能のご紹介

赤外顕微鏡 AIM-9000 の制御ソフトウェア AIMsolution には、ガイダンス機能が備わっています。これは、装置の初期化から測定までの分析の流れをアシストする機能です。表示/非表示の設定ができるため、本ソフトウェアに不慣れな方に有効にご使用いただける機能です。

また、スペクトル測定後の分析結果のレポート作成については定型のフォーマットでの印刷のほか、Word 形式での出力も簡単に行えます。そのため、自由に編集することができ、電子ファイルで報告書を保管することも可能です。

今回はこの 2 つの機能をご紹介します。

S. Iwasaki

■ ガイダンス機能

図 1 の AIMsolution Measurement 画面上で「ガイダンス」をクリックすると、図 2 に示すガイダンスが画面の左端（赤色枠）に表示されます。上から順にメニューを選択していけば、適切な指示に従って、スムーズに測定が行えます。

図 3 に一例として「測定点の登録」のガイダンス表示の拡大図を示します。クリックするボタンや設定のコツ、注意点などがイラスト付きで記載されています。また、クリックするボタンの位置などが黄色枠で囲まれて強調されるため、視覚的にもわかりやすくなっています。

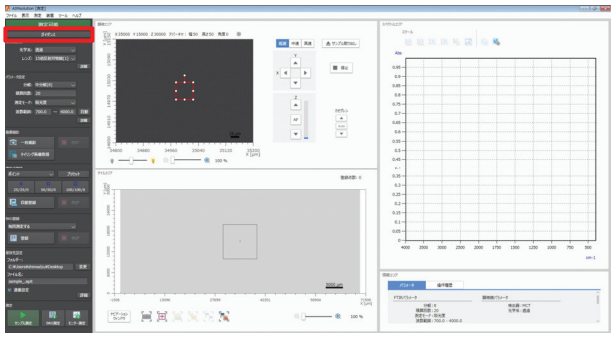

図 1　AIMsolution Measurement 画面

図 2　ガイダンス画面

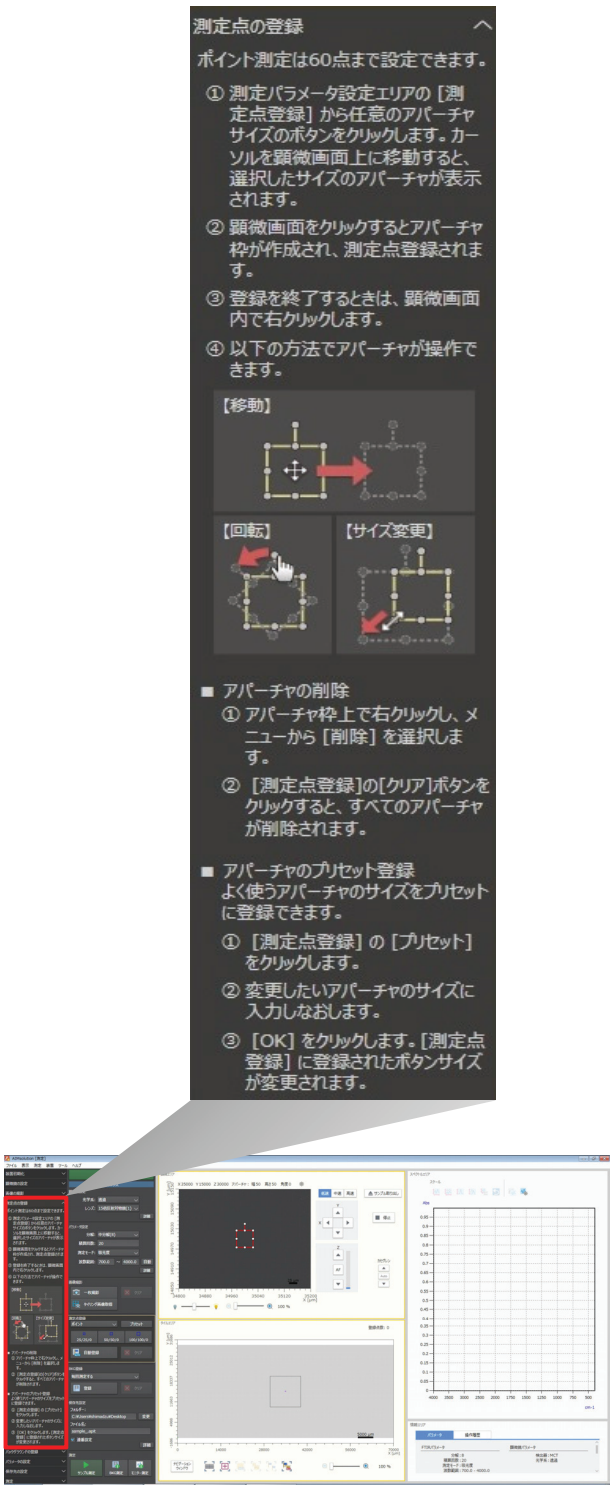

図 3　AIMsolution Measurement 画面と「測定点の登録」のガイダンス表示拡大図

■レポート作成機能

スペクトル測定が完了すると、測定データは AIMsolution Measurement から AIMsolution Analysis へ自動転送されますので、必要に応じてデータ処理やスペクトル検索を行います。その後、図 4 の AIMsolution Analysis 画面の「印刷」ボタン（赤色枠）をクリックするだけで、データビュー（緑色枠）に表示されているスペクトル、データ処理後のスペクトル、および検索結果を定型のレポートフォーマットで簡単に印刷することができます。図 5 に印刷プレビュー画面を示します。図 5 の「Word へ出力」ボタン（赤色枠）をクリックすると、図 6 に示すように、Microsoft Word 形式で保存することができます。Word ファイル上でレイアウト変更、任意の文書やグラフの追加や削除ができるため大変便利な機能です。

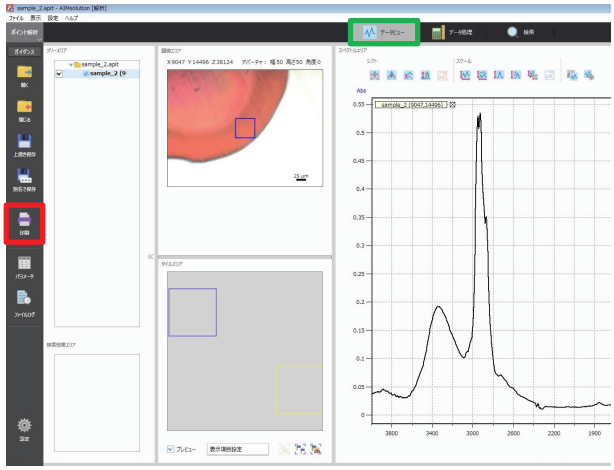

図 4　AIMsolution Analysis 画面

図 5　印刷プレビュー画面

■まとめ

今回ご紹介した AIMsolution のガイダンス機能やレポート作成機能により、ソフトウェアに不慣れな方も、正しい手順で、より快適に赤外顕微鏡 AIM-9000 をお使いいただけます。

また弊社では、標準操作手順書を各種取り揃えておりますので、営業窓口へお問い合わせください。

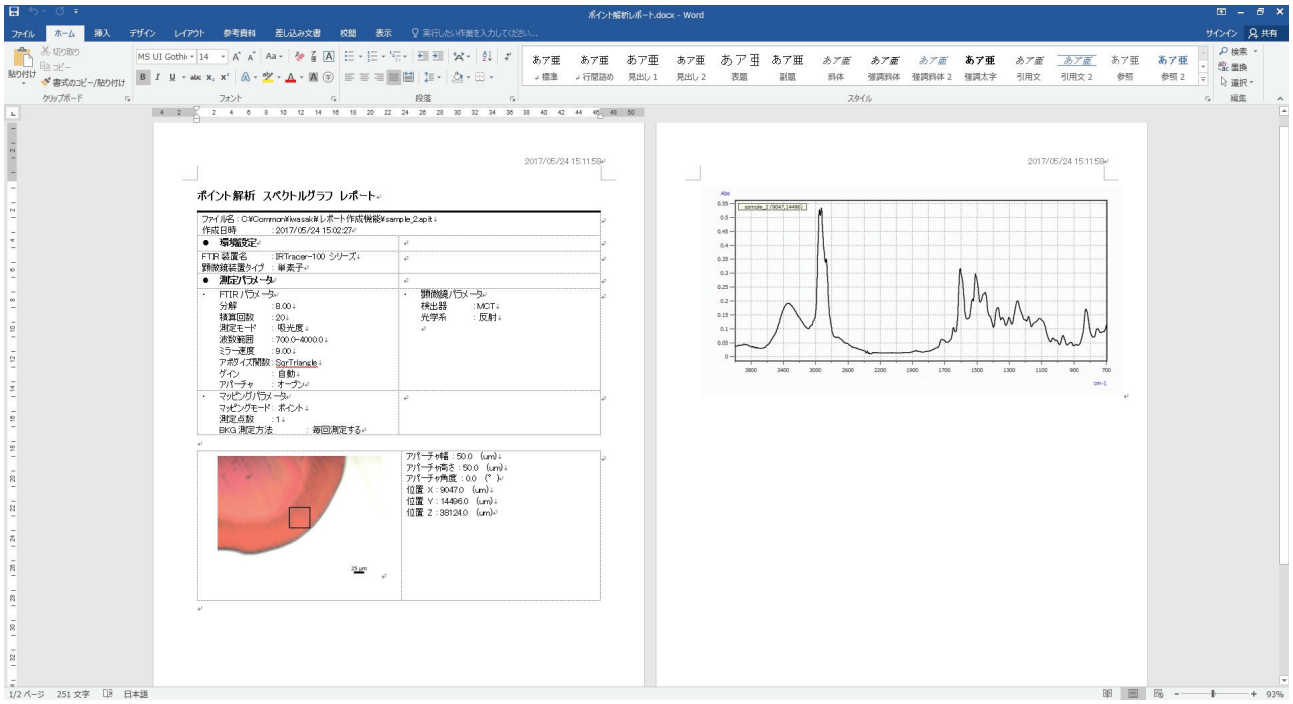

図 6　Word への出力例

株式会社 島津製作所　分析計測事業部 グローバルアプリケーション開発センター

初版発行：2017 年 6 月

島津コールセンター 0120-131691 (075) 813-1691

※本資料は発行時の情報に基づいて作成されており、予告なく改訂することがあります。
改訂版は下記の会員制 Web Solutions Navigator で閲覧できます。
https://solutions.shimadzu.co.jp/solnavi/solnavi.htm

会員制情報サービス「Shim-Solutions Club」にご登録ください。
https://solutions.shimadzu.co.jp/
会員制 Web の閲覧だけでなく、いろいろな情報サービスが受けられます。